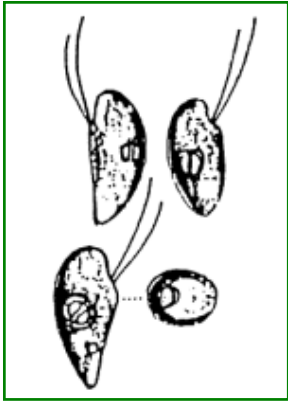


瀬田川プランクトン調査結果速報

～第12報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年6月23日

1. 最も数が多かった種類（優占種） 植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris
(ゾウミジンコ)
甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント
植物プランクトンは全体に少なかった。褐色鞭毛藻のロードモナスが最も多かったが、その他には珪藻のメロシラ、アッテヤなどが見られた。動物プランクトンは昨年この時期には、ゾウミジンコが12,000～15,000個体/lと非常に多かったが、今年は比較的少なく推移している。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
甲殻類	<i>Bosmina longirostris</i>	140

第2優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	90

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年6月23日

第12報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	60		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	10		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	3		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	96		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	10		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	20		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	50		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	28		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	11		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	120		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	2		
(他) <i>Tetraselmis</i> sp.	30		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	13.3	2.6
(珪) 珪藻綱	229	38.1	45.3
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	43.3	46.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	2	0.3	3.8
(他) その他のプランクトン	30	5.0	1.8
総細胞数	601	総体積 (μm^3)	4.90E+05
種類数	16		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし * 印の種は群体数 (群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。